

Do (やる) ザ たんなん FM (79.1MHz) 連動

市民活動

第27回

大好きな鯖江をよりよいまちにしようと活動する市民団体または個人を毎月このコーナーで紹介しています。



嚮陽吹奏楽団 ソノーレ・ウインドアンサンブル

団長 奥田 健雄 さん
副団長 廣部 知徳 さん

今回は演奏水準で音楽愛好家から高い評価を得ている「嚮陽吹奏楽団 ソノーレ・ウインドアンサンブル」の皆さんです。今年の市教育文化功労を受賞されました。

練習は楽しく厳しく

平成4年に楽団を結成。年間を通じて毎週土曜日の夜に活動しています。メンバーは約80人で高校生から50代まで幅広く、親子での参加も1組あります。仕事が多忙な人や不規則な人もおり、皆さん時間をやりくりして参加しています。和気あいあいとしています。

が、レベルを上げるだけでなく、観客と感動を共有したいので、練習はトレーニング的なことから始めて次に合奏にはいるようにしています。和やかな中にも音楽に対する厳しさを持って練習しています。

年代の壁を超えて

同じ楽器や同じパート同士の話し合いがあり、演奏会の企画や運営での係りごとの話し合いもあります。そうするといろいろな年代の智慧・発想が出てきます。みんなで話し合っていくうちに面白い企画、お客さんに喜んでもらえるステージにつながります。また、音楽を越えていろいろな悩みの相談、話し合いなどもできます。

全国大会にも出場



活動の中で力をつけるための手段としてコンクールにも出場しています。その結果、全日本吹奏楽コンクールに県代表として13回、全国大会に北陸代表として5回出場しています。そのほか、全日本アンサンブルコンテストでも全国大会に2回出場できました。

台湾にも遠征

平成18年には台湾で行われた「嘉義国際管楽節」にも招待され、福井県代表として初の海外公演を成功させま



した。70人の中には中学生も参加し、言葉の壁を越えた音楽に言い尽くせない感動を覚えました。参加した中学生の一人は「私の一生の中で一番素晴らしい出来事だった」と言うほどでした。メーンコンサートや年越しライブ（カウントダウンコンサート）も演奏させていただき、現地の新聞でも掲載され、大変評価されました。

3千人のコンサートでも演奏

8月にサンドーム福井で行われた福井県吹奏楽連盟創立50周年記念「3千人のコンサート」にも出演。小中高生、大学、一般の吹奏楽者3千人が一体となった演奏は観客はもちろん、演奏者も感動しました。会場は横幅が約100mもありましたが、3千人が心を一つにする細かいテンポの揺れや強弱のニュアンスに的確に反応し、音のズレもなくピタリと演奏が合いました。その時は興奮と感動がこみ上げ熱くなりました。

実は「3千人のコンサートをした」と強く主張したのは廣部さん。はじめは皆さん冷めた感じでしたが、準備が進むにつれ協力しあい力が合わさりました。「みんなの意識が揃うか心配でしたが、鯖江が地元ということでした。踏み出した土壌があったからこそ、一歩

今後の活動は

団員同士の結婚も10組ほど。とにかく人が集まって、それが長続きすれば共通した価値が生まれ、波及効果があります。高いレベルを目指してはいますが、音楽をしたい、仲間と一緒に演奏したい人は入っていただきたいです。コンクールでの賞が目的ではなく、「音楽をお客さんに喜んでいただく、感動していただくことが自分たちの満足につながっていく。そういった演奏活動を続けていきたいので、より高い理想に向かって努力していきたい」と思っています。そして、地元から声がかれば出演するような地元に着した活動を続けていきたいです。

お知らせ

日時 12月21日(日)
開演 14時
場所 文化センター

嚮陽吹奏楽団
ソノーレ・ウインドアンサンブル
第27回(79.1MHz) 連動

入場無料

Doザ市民活動 たんなん夢レディオで放送中!

Doザ市民活動が夢レディオ「鯖江わいわい通信」の中で放送されています。紙面では伝えきれなかった内容や、活動を行なっている人の情熱を「声」を通して感じてください。
放送日 12月1日(月)~12月7日(日)
平日 7時30分、11時、16時、23時
土・日 7時30分、17時、22時、26時